

愛知県立一宮工科高等学校で防災講座を行いました

令和8年7月16日（木）、愛知県立一宮工科高等学校で都市工学科2年生8名に水害と地震の防災講座を行いました。6月4日から4回にわたり行ってきたこの講座も今回で最後となり、32名が受講しました。

水害の講座では、伊勢湾台風A I 語り部との対話体験で「どこに避難しましたか？」「一番怖かったことはなんですか？」などの質問を通して伊勢湾台風や当時の様子を学習し、水防災A I カードクイズで避難行動について理解を深めました。また、VRによる浸水疑似体験も行い、「怖い」との声が聞かれました。

地震の講座では、能登半島地震やこの地域に甚大な被害をもたらした濃尾地震など過去に発生した地震、実験や映像を通して液状化現象について学習しました。また、ハザードマップで一宮市の想定震度や液状化危険度についても確認しました。

講座を通して、「VRでリアルな体験ができて怖かったので、もしものことを考えて意識していきたいです。」「細かく習うことのできない経験や学びを得ることができました。」などの感想がありました。

今回の講座が、生徒たちの防災意識向上に繋がり、「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

水害



地震

